

とよね議会だより

- 12月定例会…P2
- 管内視察…P3
- 議会全員協議会…P3
- 一般質問…P4
- 第2回ミーティング…P9
- 第3回ミーティング…P10
- 議会活動報告…P11
- 議会活動日記…P12
- 3月定例会のお知らせ…P12
- 編集後記…P12

vol. **42**

2026.3.1
発行



写真：上黒川老平中間土場のようす

表紙写真を募集しています。画像データをメールアドレスまで送ってください。
E-mail：soumu@vill.toyone.lg.jp

豊根村議会

〒449-0403 愛知県北設楽郡豊根村下黒川字藤平2 TEL/0536-85-1311 FAX/0536-85-1164

12月定例会の議決・報告等

令和7年第4回定例会が12月5日から12日までの8日間の会期で開かれまし
た。議事前に村長より令和7年9月定例会以降の諸報告があり、10月1日より富山支所窓口業務を富山郵便局に移管したこと、5年に一度の国勢調査の人口速報値が835人と、前回より182人(18%)の減少という結果となり大変な衝撃を受けたこと、民生委員の改選があり、8名に委嘱状の伝達を行ったこと等の報告がありました。

村長から提案された、条例改正2件、補正予算4件を慎重に審議し、いずれも原案のとおり全開一致で可決しました。一般質問は4名が質問・提案を行いました。

12月定例会で決まったこと

条例改正(全員賛成)

▼豊根村火入れに関する条例の一部を改正する条例

概要… 語句を現行制度に合わせるもの

「異常乾燥注意報」を「乾燥注意報」へ、「消防長」を「新城市消防長」へ改める

▼豊根村営住宅管理条例の一部を改正する条例

概要… 村が設置する住宅に、

旧三沢小学校敷地内に建設中の住宅を追加するもの
団地名…「栗世住宅」

戸数…4戸

構造…木造平屋建

面積…28.155㎡

右記はいずれも公布の日から施行

補正予算(全員賛成)

▼令和7年度豊根村一般会計歳入歳出補正予算(第3号)

3号

■補正予算(第4回定例会)

(単位:千円)

会計名	補正額	総額	主な補正内容	採決	
令和7年度 一般会計(第3号)	63,924	3,230,224	国庫支出金	7,073	
			県支出金	6,110	
			基金繰入金	34,218	
			村債	15,000	
			扶助費	14,133	
			簡水会計繰出金	22,621	
			消防詰所建設工事	8,981	
特別会計	436	110,372	基金繰入金	436	全員賛成
			還付金	436	
	494	27,299	保険料	454	
			負担金	494	
簡易水道事業会計(第1号)	121	142,890	[入]他会計繰入金	121	
	121	146,590	[出]企業債利息	121	
	82,500	196,073	[入]他会計繰入金	22,500	
	82,500	215,622	[入]国・県補助金	45,000	
			[入]企業債	15,000	
			[出]工事費	82,500	

▼令和7年度国民健康保険特別会計歳入歳出補正予算(第3号)

▼令和7年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出補正予算(第2号)

▼令和7年度豊根村簡易水道事業会計補正予算(第1号)(左表)

管内視察

十二月八日(月)各区より要望が提出された道路や施設の状況確認を行いました。

村長、副村長、役

場所管課職員同行の下、富山区↓三沢区↓坂宇場区↓上黒川区↓下黒川区の順に回り、各区長より要望の経緯や現状説明、課題を聞き取りしました。



坂宇場区
県道坂宇場津具
設案線(岳地土~
町村境)の景観整
備



上黒川区
長沢教員住宅と
村道金越老平線
の間にある沢沿
いの竹藪の伐倒・
整理



下黒川区
県道津具古真立
線パターゴルフ場
付近までの拡幅
と排水対策



三沢区
間黒川(渡合橋付近)
渡合橋への水位計及び
警報装置の設置



富山区
旧富山小中学校の全天
候型ドーム波板の撤去

議会全員協議会

令和7年10月24日 10:00

【執行部報告事項】

熊谷家について

熊谷家の今後の保存と活用
に
関し、現所有者(2名)と豊
根村との三者で締結する覚書
(案)の内容報告と保存工事
等の進捗状況について報告

問 覚書(案)だが、落ち度が
無いか確認した方が良い
のでは？

答 教育委員会で作成し、愛
知県文化財室及び文化庁
にも内容確認いただいたて
いる。

問 覚書(案)中、「土地を売却」
とある。これまで熊谷家
の保存修復費用は、所有
者と村との折半だった。今
回は村が個人負担部分を
賄っている。所有者から土
地を寄付してもらい、村
が全面的に応援する。そ
ういふ話はできないか？

答 所有者は土地を村へ売却
したい意向。

【第4回臨時会案件調査・研究】
新城北設ごみ処理広域化施
設整備について

新城市と北設3町村及び根
羽村の可燃ごみを広域で処
理する施設の整備方針

①施設を整備する用地は現
在の新城市クリーンセン
ター用地

②施設は、新たにごみ処理
施設を建設する。又は既
存処理施設の改修の2パ
ターンが示されている

問 人件費、収集車の維持管
理の負担を考えると、不
燃ごみを含めて新城市と
一本化できないか？

答 この広域化計画は可燃ご
みを対象としている。

問 費用はどの程度かかるのか？
答 現時点で費用感算定し
ていない。

新年度予算編成方針について
村長より、新年度予算編成方
針(8項目)について説明

県境域開発協議会議員研修会
基調講演と令和6年度に策
定した「県境域ビジョン」の
概要説明

令和7年12月5日 9:00

【第4回定例会案件調査・研究】

議案第60号

火入れに関する条例の一部改正

問 「火入れ」何を規制する？

答 開墾準備や害虫駆除、焼
き畑のために立木や雑草、
堆積物を焼却する際、村長
にその許可を申請する手
続き。

議案第61号

豊根村営住宅管理条例の一
部改正

問 住宅料の金額設定は？使
用料手数料条例と一体の
ものではないのか？

答 入居者の募集開始に伴い、
今回改正するもの。住宅料
の算定は規則で定めている。

問 住宅名は「粟世住宅」で決
定か？

答 地元からの要望で決定した。

問 粟世住宅へはエアコンを
設置するか？

答 安価に設置するため、建

設工事には含めず、備品購入で設置する。予算は入札残により措置する。

問 個人住宅へのエアコン設置の支援を検討していただきたい。

答 基本的には、リフォーム補助金の仕組みの中で支援していきたい。ただし、既に補助を受けている方は対象外。

問 既存の公営住宅へのエアコン設置の支援。適用はいつからか？

答 新年度以降と考えている。

議案第62号

令和7年度豊根村一般会計歳入歳出補正予算(第3号)

問 観光施設費の修繕費、修繕箇所は？修繕しないと営業ができないといった緊急的なものは本来、予備費を充当するものではないか？

答 当初措置した額の執行が進み、今後、3月末までに修繕が見込まれる費用を見込んだもの。修繕箇所は真空ボイラー、更衣室、エアコン修繕。

問 保健衛生費の繰出金は？

答 簡易水道事業への繰出金121千円は簡易水道事業債の支払利息へ。22,500千円は、来年度計画する82,500千円の事業を前倒しするもの。

問 国庫補助金の内示率が有利な為、今年度予算で措置するもの。補正にて措置した額は令和8年度に繰越す。他の財源として過疎債を15,000千円。残を財政調整基金で賄う。

問 支所閉鎖の費用。式典等を行うか？

答 令和8年3月31日に実施予定。村長、区長、議長のあいさつ。終業時刻に看板を取り外す。区長、区の役員の方々と食事を含めた懇談。

問 特別会計事業へ一般会計への多額な繰越金。受益者が少なく、資材の高騰等が続く状況、施設の更新や年次計画を作成する必要があると考える。

答 近隣町村では水道料金を値上げの方向でいる。

令和7年12月12日 14:30

【執行部報告事項】

・寄付の申し入れについて
上黒川字伍見平1筆(原野)
富山字正森9筆(全て山林)
同字平澤2筆(全て山林)
意見▼執行部は寄付を受け入れる意向。議会もそれに同意する。

同意する。

【議員研修】

演題「議会活動におけるハラスメントへの対応」

講師 吉田博氏

(札幌学院大学非常勤講師) ※全国町村議会議長会が作成した研修動画の視聴

ハラスメントに係る状況から、各ハラスメントの内容、地方議員が受けるハラスメントや議会内でハラスメントが起る原因分析、ハラスメント防止対策について学びました。



研修の様子

一般質問



石田 文彦 議員



▲一般質問の様子を動画でご覧いただけます。

今後の村の観光戦略を問う

問 茶臼山高原について

答 振興課長

現在茶臼山高原在り方検討会を設け今後の整備の方向性を検討している。
『スキー場運営の在り方』
『花・紅葉の充実』・『旧野外活動ロツジ跡地の活用』の3点を柱に協議。

スキー場運営の在り方は、人口減少も踏まえ、ファミリーグレネテを中心にお子様連れや初心者に安心なスキー場として、特徴を強めていく方向性で考えている。

また花の木プラザはじめ建物や設備の老朽化が進み将来的に更新や建替も含め高原本体の計画を考える必要があり今年度中高原全体の方針をまとめ、令和9年以降国の交付金制度の活用も含め複数の事業実施を検討。村の財政状況や他の村の事業とのバ

ランスを踏まえ、出来るところから整備に取組んでいく。
問 兎鹿嶋温泉について
答 振興課長
今年度中の方針決定に向け温泉施設方針策定委員会を設けを進めている。候補地は、現在と同じ場所、中学グランド横源泉とパルとよねの間で温泉を引込める範囲内の2カ所である。各々について工事費・維持管理費・周辺施設との連携等の観点で検討している。
温泉施設としては観光プラズ住民サービス、村民の日常利用と観光客の利用の両方に応える複合施設として考える。
財源は規模にもよるが、村単独では難しい為国の交付金制度の活用も含め無理のない計画を立てる。

問 道の駅について

答 振興課長

※文字数制限(2,000字)により、主要部分を抜粋し掲載

施設を大きくする事は考えず、現在生じている渋滞等の発生は臨時駐車場又は村内の観光施設への案内によりお客様の集中防止を図り観光の分散に繋げたい。

問 村内の他の観光施設について

答 振興課長

本村への観光客は令和6年実績で54万人、その9割以上が茶臼山高原・道の駅・兎鹿嶋温泉来場者であり、この来場者が如何に村内の施設に足を伸ばすかである。現在受入れ側の若手の人手不足も課題となっており、観光分野の地域おこし協力隊の活用やデジタル化の活用等施設の運営しやすい仕組みの取組みが必要と考える。

観光施設指定管理契約を問う

問 茶臼山高原施設・茶臼山園地施設・茶臼山高原美術館の指定管理契約について

答 振興課長

観光リフト収入は令和6年度実績約6,500万円、一方茶臼山高原の指定管理料合計は約9,900万円であり差額分が村負担となっている。

業務は高原内の施設・園地・芝桜園地・リフト施設・遊歩道等多岐に亘る。課題としては施設全体の老朽化が進み、加えてリフト設備他機械類の更新・保守維持管理費の費用負担が大きい事。

指定管理者と協議し費用対効果も踏まえ、現実的な運営方法の検討を考えている。

問 3年毎の基本協定、毎年度の年度協定時における事業実績に対する検証はなされているか

答 振興課長

年度協定締結時には実績を元に、入込み数・収入・経費の内容の報告を受け、経費の適正使用、効果的な実施等確認を行なう事により安全の確保必要なサービスの確保を行い経費の増加の抑制を図っている。

問 三沢地区観光施設について

答 振興課長

ケビン・キャンプ場・加工体験館等管理している。施設利用料だけでは、施設の維持管理費を賄う事は困難な状況である。ケビンの宿泊者・加工体験館利用者は年間延3,000人。課題として新たにキャンプ場が増え地区が観光施設を活用した体験プログラム・イベント等の企画など、地区と観光施設を組み合わせた三沢らしい形でお客を増やす事が重要と考えている。地域の魅力を高める場として、三沢高原憩いの里を活かしていただける様取組んでいく。

利用料収入と管理費の差額分を指定管理料として支払う。利用料収入で運営するのが本来であるがこの施設では困難であり観光施設として維持するのではなく、地域に必要な施設という面が重要でありその事を含めて公費負担を考慮している。

問 富山地区観光施設について

答 振興課長

とみやまの里についてはガソリンスタンド・特産品製造・温泉施設の村民雇用の場合多くの役目を持っている他地域住民の憩いの場として、地域コミュニティの維持に重要な役割を担っている。一方指定管理料と利用料収入のバランスからすると、村の負担が大きくなっている。現状を良くしとするのではなく少しでも利用料増収を目指し、JR飯田線利用者・県道1号線全面開通を見据え誘客対策の努力が必要と考える。今後も富山地区の施設は地区を支える価値を有しており、その役割と村の負担の在り方につき丁寧に検討していく。

以上、質問の他林業関係公共施設総合管理計画について質問をしました。

問 村内観光施設の課題

答 振興課長



一般質問

石田 吉孝 議員



▲一般質問の様子を動画でご覧いただけます。

問 有害鳥獣対策について問う

答 振興課長

傾向にあり農作物、森林、河川の鮎保護、これらは耕作放棄地や狩猟者の減少という傾向であり、営農意欲の低下や漁業の経営に繋がる深刻な問題である、有害鳥獣被害対策事業の実績と事業内容について問う

答 産業課長

6年度の実績は鹿559頭、猪22頭、猿21頭、狸66アライグマ等11匹、鳥類37羽で事業内容は金網、ネット、電気柵、爆音機で実績者は4名である。

問 猿はいくつかの群れがある。

※文字数制限(2,000字)により、主要部分を抜粋し掲載

り農作物被害は全域に亘り壊滅状態にある、個人の対策では限り限りがあるので、農作物の意欲低下を防ぐためにも村の強化対策は？

答 産業課長

猿の専用大型檻3基を設置し、その1基で猿11匹捕獲が出来た、また猿専用の移動式檻を、新城設楽鳥獣被害対策協議会に申請している。

問 大入漁協のカワウの被害対策助成との内容と成果は？

答 産業課長

カワウ追い払いにかかる費用、防除費の補助で費用22万5,000円を漁協の役員が朝晩の見回り調査や爆竹等により追い払いを行っている。

問 カワウやアオサギは追い払いだけでは次の場所に移るので、効果が薄い銃による捕獲は出来ないか？

答 産業課長

以前行ったと聞いている今後、調査し検討したい。

問 全国で4月から10月までにクマによる人的被害が196人死亡者13人と報道されている。県内では岐阜、長野、静岡県に接しており東海地方も

クマを見かけるようになってきた。坂宇場地内だけ、でもシカのくくり罠に何頭かかかり、麻酔医により放れた事、旧坂小グランドの子供めがけて現れパトカーが出動した事、また養魚場の餌を食べべり、愛知県による捕獲許可はどのようになっているか？

答 産業課長

愛知県ではクマの積極的な捕獲は自粛されており、9月より生活圏にクマが出没した際、安全確保の条件のもと、銃猟を可能とする緊急銃猟制度が創設されている。また、クマの錯誤捕獲の場合はタグをつけて放獣されている。

問 冬眠しないクマもあり、山林労働者から敬遠された場所もあり個体調整が必要でないか？

答 産業課長

今年の8月から10月にかけて愛知県でツキノワグマの生息調査を実施しており、調査の結果を重視し対応していく。

問 猟友会員と有害駆除のできる人員は何人か、また銃所持狩猟免許は資金や手間

暇がかかる緊急時に出動できる組織化は出来ないか？

答 産業課長

猟友会員は54名で銃免許所持者は21名である。

答 村長

今後、猟友会と相談しながら役場職員や有志の方と緊急狩猟の導入にあたり準備検討したい。

問 予算編成方針について問う

答 村長

予算編成方針の中で空き家をリノベーションして、若者に受ける譲渡型村営住宅の仕組みづくりとは？

答 村長

空き家バンクに登録されている物件から村がりホームして、その費用を毎月払ってもらい一定期間終了後に譲渡する仕組みであり、事業は9年度以降となる。

問 国道151号、県道茶臼山線、県道阿南東栄線改良

要望状況について村の経済を動かす全ての道路問題は村の計画の1丁目1番地であり国に対して積極的な働きかけを？

答 村長

道路は地域経済においても住民生活、救急、災害対応に於いても重要なライフラインであり県境域の5町村、新北設の4市町村、東三河の8市町村、国に対する要望も県に北設3町村も同行して要望活動を実施している。

問 国道151号の長野県側は国の直轄事業で実施して改良済みであるが村の施策の観光事業の玄関口でもある国道

の改良は、遅れている。地方創生交付金の中で、地方への多様な資源と切れ目ない自治体に対して、国県から、地方自治体に対して、補助金制度の対象事業と一体的になって実施することの出来る、とあるが予算化する見込みは？

答 村長

国道151号の地方創生的な活用について三遠南信自動車道、鳳来峡、東栄インターが8年3月に開通し豊橋、浜松、豊川方面から近くなるが古戸から田和金間については県に於いて津川から金越間のトンネル工事の測量設計及び交差点協議を先に進めている。工事に係るのは郡

内のトンネル工事が終了した後となり古戸、田和金間の改良は、その後となる。

問 財政調整基金の残額を10億円、実質公債費率を10%以下にとどめるとあるが、将来計画も茶臼山開発、温泉リニューアル、医療福祉、簡易水道事業等維持するためには財源が難題である、ふるさと納税等の様な外貨獲得の考えは？

答 村長

大型事業の内キャンプ場、庁舎の空調工事、デジタル防災無線工事、詰所の建設工事が終了し財政調整基金や記載の借入れもあり公債費率も上昇しており、今後空き家活用、温泉リニューアル、茶臼山観光、老朽化した施設の解体工事等大型事業を控えており財源が課題となっているが国の第二次世

交代付金や地方創生交付金、国県の有利な補助金を優先的に充当、過疎債も活用して行く。ふるさと納税の外資獲得についてはコンサルタントに委託し返礼品として魅力ある商品を新規に開発する。

※文字数制限(2,000字)により、主要部分を抜粋し掲載

一般質問



清川 長次 議員



▲一般質問の様子を動画でご覧いただけます。

南海トラフ巨大地震、豪雨、豪雪等災害対策について問う

問 災害対策基本法改正により年1回公表することになった災害用物資備蓄状況の公表時期と方法は？

答 総務課長

毎年その年の備蓄状況を12月31日までに公表することになり、令和7年の公表については改正法施行日1年後令和8年7月1日までの公表であるので村は令和7年度中にホームページでの公表を予定している。

問 避難所ごとの備蓄物資と数量は？

答 総務課長

議長の許可をいただき一覧表配布で答弁とさせていただきます。

問 物資名と数量を決めた根拠は？

答 総務課長

食料については避難所収容人数の3分の2が概ね3日間

過ぎせる量、資機材は停電時に必要な発電機、投光器、無線機器は全避難所に配備している。

問 村災害対策支援補助金の直近3年間の交付実績は？

答 総務課長

議長の許可をいただき一覧表配布で答弁とさせていただきます。

問 実績状況の評価は？

答 総務課長

平成27年度から当該補助金制度が開始し、令和6年度までに168件の交付実績があり、村民の防災意識の高さから事業執行されていると評価している。

問 有意義な補助事業でより進展させるため村民からの声、要望等を区長会等で情報収集し検証しては？

答 総務課長

ご意見をいただき支援物資等の追加や補助金限度額、補助率等についても検討して

いきたい。

問 避難所における非常用発電機は？

答 総務課長

富山総合センターに3台、他の拠点施設に各1台、防災倉庫に各1台配備している。

問 小さな村だからできる密度の高い村づくりへの取組みの消防施設及び消防団設備再整備計画の進捗状況は？

答 総務課長

令和6年度に坂宇場地区小型動力ポンプ付積載車更新と石堂消防詰所新築工事設計業務、令和7年度に富山地区小型動力ポンプ付積載車更新と石堂（蔵平）消防詰所建設工事。

問 再整備計画が非常にタイトで令和6年度〜11年度の計画見直しが必要か？どの程度の先送り計画になるのか？

答 総務課長

村財政や消防団員数の状況から計画見直しが必要と考え、変更事業計画期間は今後関係者と協議する。

問 事業財源として国、県の補助事業状況と令和7年度までの時限事業債である緊

急防災災害事業債の今後の見直しは？

答 総務課長

消防用備品購入に県費補助の南海トラフ地震等対策事業費補助金を活用する。事業債は来年度以降も延長する方針を総務省が固めたと県からの情報提供があった。

問 区自主防災会の活動状況は？

答 総務課長

自主的な活動は把握していないが村主催防災訓練への参加は自主防災会活動の一環であると考えている。

問 自主防災会がやや形骸化しているのではと考え、共助活動として具体的行動例を組長会や区長会で示して協力をお願いしては？

答 総務課長

区長会等で自主防災活動の推進をお願いしていく。

問 災害による集落孤立が想定の情報収集交換等の手段は？

答 総務課長

一つ目は移動系防災行政無線で猪古里地区、大立地区、大沢老人憩いの家、漆島防災避難所、山内公民館に無線機を設置、二つ目は衛星

携帯無線2台を役場と富山地区孤立対策として支所に配置している。

問 過日11月16日開催の村防災訓練の住民参集率及びその内の援助を必要とする高齢者の参集状況は？

答 総務課長

村全体で155人17.4%、援助高齢者の検証はしていない。

問 集落孤立対策としてのドローン活用の考えは？

答 総務課長

ドローン活用は有用と考えるので先行事例、先進事例を参考に今後検討していく。

問 過去の多くの経験から災害発生からライフライン復旧までに1週以上を要するケースが多くあり物流機能の停止によって1週間は食品が入らないことが想定されるので、水、食料、生活必需品、カセットコンロやボンベ等の家庭備蓄推奨と普及を進めるべきでは？

答 総務課長

村災害対策支援補助金メニューである防災用品の購入補助を一層周知し、可能な限り1週間分、最低でも

※文字数制限(2,000字)により、主要部分を抜粋し掲載

3日分程度の食糧及び飲料水を備蓄し、災害発生時には避難所へ持参いただくよう今まで以上に呼び掛けていく。

問 災害救助法も改正があり福祉サービスの提供が追加されましたが福祉マンパワー不足の中、支援体制の取り組みは？

答 総務課長

県からの支援に加え福祉関係事務所との相互支援体制の構築や福祉避難所の確保を目的とした防災福祉協定などの締結は今後の課題と考え連携を進めていく。

問 村内のケアセンター、グループホームとの災害時連携、情報共有は？

答 総務課長



一般質問

高齢者福祉と地域課題について

問 高齢者が安心して暮らせて

金指 春男 議員



▲一般質問の様子を動画でご覧いただけます。

る村づくりについて、第6次総合計画に元づき、少子高齢化や人口減少が続く中

本年4月豊根ケアセンター、豊根社協、役場住民課でケアセンターのLPガスを利用した非常用発電機視察と情報交換を行い福祉関係施設・職員間の連携強化を進めていく。

問 園児、小中学生、教職員の学校等待機時の災害用備蓄及び給食センターの非常時活用マニュアルと訓練は？

答 教育長

現在、災害など非常時に全員の2食分を備蓄しています。2食分で事足りるのかは今後関係者で検証し協議していく。学校給食調理場(給食センター)の非常時活用マニュアルは策定されていないので今後検討していく。

で、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられる為の村の全体方針は。

答 村長

長寿と健康は喜ばしい事である、行政の役割は住み慣れた地域で安心して暮らせる社会を作る事、その基本は在宅医療・在宅福祉で有り、健康づくり、病気の早期発見、早期治療、要介護になった際の受け皿(在宅介護)、家族の支援が重要である。又、具体的な施策として、保険センターでの健康づくり事業、診療所による医療提供、社会福祉協議会による在宅介護サービス、ICTを活用した見守りシステムの補助制度等がある。

問 物価高騰に対する高齢者支援について、高齢者世帯の主な収入源が年金である中、物価高騰が生活を圧迫している、高齢者への支援策と考え方、早期実施に向けた方針を伺いたい。

答 副村長

国の総合経済対策と物価高騰重点支援地方交付金を活用し、低所得者、高齢者世

帯への支援を検討するも、国の交付金額が未定のため具体的な事業内容は未定であるが、出来るだけ早く事業を進め高齢者に分かり易く負担の少ない手続と成る様配信し、支援を確実に届けるため、過去の事業では申請が無い対象者への連絡を取るなどの対応した実績もあるので、今後も同様に努める。

問 高齢者人口の将来推進と介護需要について、今後3年、5年、10年後の高齢者人口、単身世帯数の見通しと、それに伴う介護サービスの需要予測について。

答 住民課長

高齢者人口は今後10年で約1割の減少に留まる一方、高齢化率は現在の51%から、10年後には57%に上昇する又、要介護認定者数は今後10年で現在より増加すると予測され、特に在宅サービス(通所・訪問)の必要性が高まる。

問 今後の高齢者福祉対策と介護人材確保について、介護現場を支えるための基本方針(働きやすさ・人材育成)

広域連携などについて伺う。

答 住民課長

住み慣れた地域での生活を支えるため、介護サービスを体制の確保が最重要課題である。社会福祉協議会と連携し、訪問・通所・在宅介護の機能を確保してきたが、人材不足は深刻であり、近隣町村との事業統合も検討したが、サービス低下の懸念から、現行のサービス体制を維持する方針であり、人材確保策として広域連合のマッチング事業や就職イベントへの参加に取り組む。現職員の働きやすさ向上のため、デジタル機器導入支援や、資格習得支援の検討も進め現職員の負担軽減と定着を図る。

問 老人クラブの今後の在り方と支援について、老人クラブの認知不足や活動の魅力が伝わりにくいと云う課題と、「老人」という名称に抵抗を感じる前期高齢者が多く、時代遅れといった否定的なイメージが参加の障壁になっているのではないか。

答 住民課長

事前案内や様子を分かり

※文字数制限(2,000字)により、主要部分を抜粋し掲載

易く知らせるため、掲載の流れの明確化や情報発信を強化し幅広い世代に活動の様子や魅力を伝える事で、新規参加者の増加を目指す。村では「豊根いきいきクラブ」という呼び名を広めていくことに行政も協力するが、名称変更だけでなく、活動内容の充実や世代を超えた交流の在り方についても議論が必要である。

問 女性部への助成金について、老人クラブ連合会の女性部の事業に対し、健康づくりや、介護予防に資する取り組みと、女性ならではのニーズを考慮したアンケートも出ておりますので参考に助成金の検討をお願いします。

答 住民課長

女性会員がクラブ会員の半数以上を占める現状を踏まえ、女性ならではのニーズを考慮した活動アンケート結果を参考に、女性が積極的に地域づくりに関わる環境を整える、又、クラブの事業計画に位置づける事で既存の助成制度を活用できる仕組みとなっている。

第2回 ミーティング

共通のテーマや興味がある人(同じ業界や職種、共通の趣味を持つ等)を募り、その業界や職種が抱える問題点や要望など自由な意見交換を行う「ミーティング」を開催しています。

今号では、第2回と第3回の様子をお伝えします。紙面の都合上、抜粋し紹介します。

開催▼令和7年10月9日(木)
午後7時

対象▼福祉・介護に従事する方

担当議員▼石田吉孝議員、清川長次議員

●ヘルパーを利用する方は多いが、利用者宅までの移動時間がかかるため、訪問件数が限られてしまう。他の職種と比べ給与が低く、同業でも男女の差がある。介護保険制度

の中で加算することもできるが、利用者負担が生じる。

●ぼんたの里利用者の送迎に時間を要している。今は、施設利用者の軒先まで迎えに出ることから職員負担が重くなっている。

●障がい者の人数は少ないが、支援のニーズはある。障害者自立支援協議会が少しずつ機能していると感じている。地域づくりは皆でやらないと出来ない。一人一人が何に参加できるか、何が一緒にできるか、いつまでに何をするか考える時だと思う。結論や答えがその場で終わり、次の段階に繋がらないように感じる。

●ケアマネジャーの担い手がいない。5年先、10年先に人材がいるか不安。入所施設も人手不足で、入所を断られることが起きている。人手不足で必要なサービスを受けることができない今の状況が

課題と考える。

●集落支援員として、高齢者の日常の困り事のお手伝いをするが、三沢区以外はそういう状況にない。各区に集落支援員を設置していただきたい。がんばらマイカーの運転手も務めているが、受け持つ地域が広がると金銭的、時間的負担は重くなる。移動距離に対する補填は以前からの課題となっている。



第2回ミーティング当日の様子

●高齢者サービスの必要性は高まっていくが、担い手がいない。隣接町の法人と合併して広域的な支援を検討することが必要と感じるが、合併に関しては温度差がある。高齢者のための買い物ができる環境、災害時に避難する場の確保を望む。

●地域サロンのスタッフとして従事している中で、サロンに参加することに苦手意識を持つ方が多いと感じている。スタッフの高齢化が進み、後に続く方もいないので、継続的に運営できるか心配している。家族形態が同居から別居に変わり、家族が介護することができない。そこで地域の協力が不可欠だが、地域の人数も減少している。家庭で介護できなければ、施設入所、有料老

人ホームへの入所となるが、係る費用は高くなる。職員の確保は慢性的な問題。特に看護師といった専門職員の不足がひっ迫した問題。経営的な面から言えば、グループホームとよねの家を現状のユニットから2ユニットに増やしたい。

第3回

ミーティング

開催▼令和7年12月12日(金)

午後7時〜

対象▼園児、児童及び生徒の保護者

担当議員▼清川長次議員、

村松英文議員

●地域の方や行政からも見守られていると感じている。不安があるとすれば、高校進学や同級生が少ない(いない)ということ。子どもが集まれる場所がほしい。共働きしている

と、土曜日や祝日、県民ホリデーでは親は休めないため、子どもは家で1日中ゲームして過ごすこととなる。そこに行けば誰かがいて、遊ぶことができる場所があると嬉しい。

●今年から、東栄町の保育園と交流を始めた。多くの人と関わることで、入校でも取り入れてもらえればと思う。夏休みのプール開放、隣の屋内プールを活用できるように考えていただければと思う。

●村からは手厚い支援をいただいている。ただ、今後、子どもの数はかなり減少することとなる。子どもがいなければ、入学式や卒業式、全ての行事がなくなる。子育て世帯を呼び込むためには、ニユーズで取り上げられるほど驚く額(支援)を出すくらいいやらないと難しいと思う。

●都会で暮らすことと豊根村で暮らすこと、メリツトもあれば諦めなければいけないこともある。例えば娘の予防接種では漏れなく無料で接種してもらえ、学校でも個別支援で手厚く先生方に見てもらえる。一方、中学校の部活や習い事に関しては、選択肢が少なく、村外で習い事をする、移動のためガソリン代や、自動車のタイヤなど経費が高む。トータルでみれば、子どもが元気に成長し、育てる上ではとてもいい環境だと思っている。

●未就園児が集まる「ここ」に「広場」で東栄町や設楽町の子どもたちと交流できるようにした。要望に添えてもらいたい。東栄町で行っているような、村長や地域の方とお話や交流できる機会をここに「広場」で設けてほしい。

●自然が身近にあっても、実は体験していない子が多い。子どもの居場所として、自然体験ができる場所があるといいなと思う。魚釣りや木の伐採、郷土料理の作り方等、昔の知恵を学べるような場があり、「豊根村の暮らし」が楽しい」と外の人に発信できる仕組みがほしい。移住してもらうには魅力がある教育が必要だと思う。



第3回ミーティング当日の様子

●子どもの居場所がないというのは同感。補助事業を活用して、旧小学校の校舎や志高寮を子どもの居場所に使えないかと考える。子ども3人いるが、一番下の子は同級生がいらない。子どもの居場所がつかれないと人も集まってくれないし、大人も集まれないと思っている。

●教職員や保育士、バスの運転手、皆さんすごく頑張ってくれている。皆さんの待遇が少しでも良くなればいいなと思う。特別な手当又は休暇を設けるかどうか。働き続けられる環境ができれば、働きやすい環境も作っていきける。そういうところに予算を配っていただきたいと思っている。

この場の発言や意見は集約、整理し村長始め行政に伝えるとともに、議員からも解決策等を提案していきます。

議会活動

10/16 北設情報ネットワーク民間移行业務における北設3町村議員勉強会

令和7年10月16日(水)に設楽町津具総合支所にて北設情報ネットワークの民間移行业務に関する北設3町村の議会議員を対象とした勉強会が開催されました。

民間移行へのスケジュール、移行への手続きや料金等の説明がありました。生活に密着するサービスですので、多くの質疑や意見交換がありました。



10/28 県境域開発協議会議員研修会

令和7年10月28日(水)茶臼山のレストランやはずにて「県境域開発協議会議員研修会」が行われました。長野県阿南町、天龍村、根羽村、売木村の議会議員とともに、株式会社モリアゲの長野麻子様を講師に招き、「流域連携して森をモリアゲよう」と題し、森林資源の連携活用について講演いただきました。豊富な森林を持つ当地にとって、とても興味深く、参考となるお話でした。

11/12 第69回町村議会議長全国大会

令和7年11月12日(水)東京都NHKホールにて「第69回町村議会議長全国大会」が行われました。

全国より町村議会議長等の関係者が集まる中、国会議員を来賓に迎え、全国各地区からの要望事項を決議し、全国議長会の役員で要請活動をしていくことを確認しました。「地方創生を切れ目なく協力に推進するよう求める特別決議」を全国町村議会議長会理事である田原議長が読み上げました。



11/19 第36回豊根村議会議長杯ゲートボール大会

令和7年11月19日(水)とよねドームにて第36回豊根村議会議長杯ゲートボール大会が開催されました。

当日は冷たい風が吹く寒い日でしたが、ゲートボール協会と議員との構成から成る4チームの熱いトーナメント戦が行われました。

2026年 議員活動日記

10月

開催日	会議等の名称	場所	出席者
2日	東三河広域連合議会 福祉委員会視察 1日目	神奈川県	村松議員
	愛知県町村議会議長会行政調査 1日目	奈良県	議長
3日	東三河広域連合議会 福祉委員会視察 2日目	神奈川県	村松議員
	愛知県町村議会議長会行政調査 2日目	大阪府	議長
4日	新城市制20周年記念式典	新城市	議長
	三遠南信サミット他	飯田市	坂口議員
6日	愛知県町村議会議長会第77回定期総会	名古屋市	正副議長
	愛知県町村会第78回定期総会	名古屋市	議長(会長)
9日	第2回 ミートアップ 福祉・介護	第三会議室	全議員
14日	全国町村議会議長会理事会	東京都	議長(理事)
15日	国会議員への要望活動	東京都	議長(理事)
	全国町村議会議長会都道府県会長会	東京都	議長(理事)
16日	北設情報ネットワーク民間移行事業における北設3町村議員勉強会	設楽町	議員
20日	愛知県町村議会議長会正副会長会	名古屋市	議長(会長)
	愛知県町村議会議長会理事会	名古屋市	議長(会長)
22日	例月出納検査・随時監査	委員会室	監査委員
23日	北設広域事務組合第2回臨時会	設楽町	議長
	第2回 広報委員会	委員会室	広報委員4名
24日	全員協議会	委員会室	全議員
	第5回 議員定数・報酬検討特別委員会	委員会室	特別委員会委員
27日	北設楽郡町村議会正副議長・事務局長合同会議	設楽町	正副議長
28日	県境域開発協議会議員研修会	茶臼山	全議員
31日	北設広域事務組合例月出納検査	設楽町	石田(文)議員
	愛知県へき地・複式・小規模学校教育研究大会	設楽町	議長
	ミートアップ(第1回 林業・土木)村長報告	村長室	副議長、村松議員

11月

開催日	会議等の名称	場所	出席者
2日	とよね・みどり湖ハーフマラソン	豊根ドーム	議員
3日	令和7年度東栄フェスティバル	東栄町	議長
4日	新城設楽建設事務所 道路要望	新城市	議員
6日	県境域道路部会要望 1日目	東京都	議長
7日	県境域道路部会要望 2日目	埼玉県	議長
	東三河広域連合議会 みらい広域委員会	豊橋市	清川議員

8日	豊根小学校学芸会	村民ホール	議員
11日	自由民主党幹部との懇談会	東京都	議長(理事)
12日	第69回町村議会議長全国大会	東京都	議長(理事)
	町村議会議長全国研修会	東京都	議長
17日	全国過疎地域連盟第60回総会	東京都	議長
18日	第69回町村議会議長全国大会の要請活動	東京都	議長(理事)
19日	第36回豊根村議会議長杯ゲートボール大会	豊根ドーム	全議員
	第6回 議員定数・報酬検討特別委員会	委員会室	特別委員会委員
20日	東三河地区学校保健研究大会	新城市	副議長
21日	例月出納検査・財政援助団体に対する監査	委員会室	監査委員
25日	全国町村議会議長会理事会 1日目	東京都	議長(理事)
26日	全国町村議会議長会理事会 2日目	東京都	議長(理事)
	議会運営委員会	委員会室	議会運営委員
28日	愛知県町村議会議長会第77回定期総会要望事項の陳情	名古屋市	議長(会長)
	愛知県との行政連絡会	名古屋市	議長(会長)
29日	豊川駐屯地創立75周年記念行事	豊川市	議長
	村民福祉の集い	村民ホール	全議員

12月

開催日	会議等の名称	場所	出席者
5日	議会全員協議会	委員会室	全議員
	令和7年第4回定例会 初日	議場	全議員
6日	愛知県市町村対抗駅伝大会	長久手市	議員
8日	管内視察	村内各所	全議員
10日	新城防火協会年末役員懇談会	新城市	副議長
	第7回 議員定数・報酬検討特別委員会	委員会室	特別委員会委員
12日	全員協議会	委員会室	全議員
	令和7年第4回定例会 最終日	議場	全議員
	第一回広報委員会	委員会室	広報委員4名
	第3回 ミートアップ 保育・教育	第三会議室	議員
19日	茶臼山高原スキー場安全祈願祭	茶臼山	正副議長、新木議員
20日	茶臼山高原スキー場会場式	茶臼山	全議員
22日	例月出納検査	委員会室	監査委員
	愛知・名古屋アジア・アジアパラ競技大会組織委員会第50回理事会	名古屋市	議長(会長)

3月は職場でも家庭でも何かと慌ただしい事と思います。保育園・小中学校・高校の卒園・卒業式、そして4月には入学進学・入社式など人生の節目となる時です。子どもや孫たちの成長を喜び、明るい未来を期待したいものです。議会の任期もあと1年。村は今、非常に大事な時期を迎えています。皆様の付託に応えるよう、一生懸命職務を果たして参ります。叱咤激励をお願い致します。

編集後記

豊根村議会 3月定例会のお知らせ

3月定例会は3月5日(木)から13日(金)までの会期で開催予定です。なお、一般質問は5日(木)に行います。

※日程は変更となる場合もあります。詳しくは、議会事務局までお問い合わせください。

発行責任者◆議長 田原 長一郎
 広報委員会◆委員長 金指 春男
 委員 坂口 和男、新木 久登、石田 文彦